

明日はこれを読もう

二見時代小説文庫

時代小説

浅黄斑 天空の城

無茶の勘兵衛日月録19

無茶勘こと
落合勘兵衛、
天敵との
新たなる闘い



延宝七年（一六七九）の新年が明けた。ある闇夜、落合勘兵衛は小網町で謎の刺客に襲われた。以来、歩くたびに尾行者が…幕府大老の酒井雅楽頭、大老と気脈を通じる越後高田藩主の松平光長と、その家老の小栗美作、さらに越前福井の松平昌親。これら「天敵」と勘兵衛の新たなる闘いが待ち受けていた……！